

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121232050	インテリアデザインⅡ(商業施設)	西村 和哉	✓		2	選択	3後期

科目の概要

インテリアの要素と効果を整理し、小規模な店舗のプランニングとデザインを通して、商業施設に求められる空間的な条件を理解し、それを解決するためのデザイン手法を修得します。さらには実在する具体的な条件のなかで、インテリアデザインを考察し、作図し、提案します。自己の価値観を確立しながら、社会に開けた人々の日常生活を住の面から支援できる能力（ディプロマ・ポリシーの④に相当する）を身に付けます。設計事務所にて住宅、店舗、公共建築等の設計活動を通じて養われた経験を基に、デザインの背景や理由等について理解を深め、実践的に生かせる講義内容とします。

学修内容	到達目標
① インテリアの要素とその影響・効果を理解する。 ② 動線・行為とインテリアの空間の関係性を理解します。 ③ 商業施設に求められる空間的な条件・問題点を理解します。 ④ 条件・問題点を解決するためのデザイン手法を修得します。 ⑤ 実在する具体的な条件のなかで、インテリアデザインを考察し、作図し、提案します。	① インテリアの要素とその影響・効果を理解し、説明することが出来る。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する） ② 動線・行為とインテリアの空間の関係性を理解し、説明することが出来る。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する） ③ 商業施設に求められる空間的な条件・問題点を理解し、説明することが出来る。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する） ④ 条件・問題点を解決するためのデザイン手法を修得し、応用することができる。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する） ⑤ 実在する具体的な条件のなかで、インテリアデザインを考察し、作図し、提案することができる。（ディプロマ・ポリシーの④に相当する）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ア. 技能を習得するという目標に向かって指示が無くても自ら練習することが出来る。 イ. 課題を行うのに必要な知識を、文献、新聞等を使って自己学習することが出来る。
	働きかけ力	ア. わからないときに相談することができる。
	実行力	ア. 課題や作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることが出来る。
考え抜く力	課題発見力	ア. 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることが出来る。
	計画力	ア. 計画通りに進まないときは、計画を見直し修正出来る。
	創造力	ア. 物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることが出来る。
チームで働く力	発信力	ア. 聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することが出来る。 イ. 発表の仕方を工夫して発表出来る。 ウ. 整理した内容を、的確な文章で表現出来る。
	傾聴力	ア. 学生同士で意見を交換、確認し、さらに自分の意見を述べる事が出来る。
	柔軟性	ア. 自分と異なる価値観を尊重し、柔軟に受け入れることが出来る。
	状況把握力	ア. 自分ができていることを考え、また周囲にどんな影響を及ぼすか考え、目標に向かって努力できる。
	規律性	ア. 遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ア. 失敗した時や落ち込んだり動揺することがあっても、次に進むことが出来る。

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。必要に応じて資料を配布する。※「参考文献」は読むことが望ましい書籍の紹介です。講義では使用しません。参考文献1： 商店建築 （株式会社 商店建築社）授業内で適宜紹介していきます。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「インテリアデザインⅡ(商業施設)」は専門分野の空間・情報デザインの科目群の住分野の一部であり、「住宅計画」で獲得した知識・技術を活用し、発展させていく。また、「インテリアデザインⅡ(商業施設)」は、広範囲にわたる社会生活全般で関わり、また卒業研究につながる基盤となる科目である。

関連資格：インテリアプランナー インテリアコーディネーター

学修上の助言	受講生とのルール
自主性を持って課題に取り組んで下さい。レポート等では事前準備が必要な課題もあります。日頃から書籍、雑誌を読んだり、インテリアショップ、家具店へ出掛けるなど常に情報収集に気を配りましょう。 ※作図の授業時には定規（三角スケールが望ましい）、シャープ（製図用シャープペンが望ましい）、消しゴム等を用意すること。	事前準備は事業の時間外で行い、進み具合を確認しながらの課題となりますので欠席は厳禁です。また、許可（ネット検索等）がない限り携帯電話は、カバンに入れておくこと。時間と提出期限は厳守して下さい。提出課題はすべて提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	20	①	✓			・課題①「私の好きな商業施設（店舗）」事前に商業施設について調べておく、好きな理由を自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。またその商業施設のインテリアの実例を解析し、問題点と解決するためのデザイン手法を考察し、まとめる能力を評価します。（写真添付）また、「商業施設のインテリア手法を学ぶ」の授業内での意見交換も評価の対象となります。
				②	✓			（獲得）商業施設（店舗）の多様性を知る（60%）
				③	✓			（活用）自分の好きな色彩、要素等、理由を抽出する（20%）
				④	✓			（解決）問題点を解決するためのデザイン手法を導く（20%）
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓			・成果発表①「作図実習」（※筆記試験の代わり）実在する具体的な条件のなかで、インテリアデザインを考察し、作図し、提案できているかを評価します。
				②	✓			・商業施設に求められる空間的な条件を理解し、それを解決するためのデザイン手法が工夫されているかを評価します。
				③	✓			・自分なりのアイデアで提案出来る能力を評価します。
				④	✓			・図面、プレゼン資料を丁寧に仕上げ、的確な言葉で表現し発表できているかを評価します。
				⑤	✓			・第14週授業（オンデマンド）の出席確認としてGoogle classroomにレポートを提出します。
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）・技能を習得するという目標に向かって指示が無くても自ら練習することが出来る。
				②	✓			（実行力）・課題を行うのに必要な知識を、文献、新聞等を使って自己学習することが出来る。
				③	✓			（課題発見力）・課題や作品を仕上げるための手順や方法を考えて目標に向かって進めることが出来る。
				④	✓			（創造力）・事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることが出来る。
				⑤	✓			（発信力）・物事を考える時に固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることが出来る。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・商業施設のインテリアの実例を解析し、問題点と解決するためのデザイン手法を考察し、理解し「自分の言葉」で説明出来ていること。 ・「作図実習」では、提示された条件を複数の観点から検討・理解し、創造力を発揮し「自分のアイデア」、「自分の表現方法」で提案が出来ている。 ・「作図実習」では、商業施設に求められる空間的な条件を理解し、それを解決するためのデザイン手法が考えられ、さらに工夫されている。 ・レポート、図面、プレゼン資料を丁寧かつ美しく仕上げ、的確な言葉で表現できている。 ・商業施設の設計要素（計画・法・設備）が理解されている。 A（優）は、B（良）と比較し「自分の言葉」、「自分のアイデア」、「自分の表現方法」等で説明及び提案がなされていることが重要です。その上で、さらに「アイデア」や「表現方法（プレゼン）」が卓越しているものには、S（秀）を付与します。	B（良） ・商業施設のインテリアの実例を解析し、問題点と解決するためのデザイン手法を考察し、理解し説明出来ていること。 ・「作図実習」では、提示された条件を複数の観点から検討・理解し提案することが出来ている。 ・「作図実習」では、商業施設に求められる空間的な条件を理解し、それを解決するためのデザイン手法が考えられている。 ・レポート、図面、プレゼン資料を丁寧に仕上げられている。 C（可） ・商業施設の変遷の概要を理解できる。 ・商業施設のインテリアの実例を解析し、問題点と解決するためのデザイン手法を考察し、理解していること。 ・「作図実習」では、提示された条件を検討・理解し提案することが出来ている。 ・「作図実習」では、商業施設に求められる空間的な条件を理解し、それを解決するためのデザイン手法が考えられている。 ・レポート、図面、プレゼン資料を最後まで仕上げられている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	商業施設の変遷を学ぶ (1)	講義 (プリントとパワーポイント使用する) Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	商業施設の変遷の概要を理解できる。	予習：Google classroomの資料を読 んでくこと。 復習：講義ノート を復習し自分なりに課題 点を整理すること。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
2	商業施設の変遷を学ぶ (2)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント使用する) Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	商業施設の変遷の概要を理解できる。	予習：Google classroomの資料を読 んでくこと。 復習：講義ノート を復習し自分なりに課題 点を整理すること。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
3	商業施設のインテリアのデザイン手法を学ぶ (1)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント使用する) Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。 課題① 「私の好きな商業施設」 フィードバック (課題作品の発表、講評を通して、課題内容を理解し再確認を行う。)	課題①提出。 商業施設のインテリアの実例を解析し、問題点と解決するためのデザイン手法を理解できる。	予習：実例について自分 なりの意見をまとめる。 復習：講義中の実例を 復習し自分なりに課題 点を整理すること。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 状況把 握力 規律性
4	商業施設のインテリアのデザイン手法を学ぶ (2)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント使用する) Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	商業施設のインテリアの実例を解析し、問題点と解決するためのデザイン手法を理解できる。	予習：実例について自分 なりの意見をまとめる。 復習：講義中の実例を 復習し自分なりに課題 点を整理すること。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 状況把 握力 規律性
5	商業施設のインテリアのデザイン手法を学ぶ (3)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント使用する) Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	商業施設のインテリアの実例を解析し、問題点と解決するためのデザイン手法を理解できる。	予習：実例について自分 なりの意見をまとめる。 復習：講義中の実例を 復習し自分なりに課題 点を整理すること。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 状況把 握力 規律性
6	商業施設のインテリアのデザイン手法を学ぶ (4)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント使用する) Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有します。	商業施設のインテリアの実例を解析し、問題点と解決するためのデザイン手法を理解できる。	予習：実例について自分 なりの意見をまとめる。 復習：講義中の実例を 復習し自分なりに課題 点を整理すること。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 状況把 握力 規律性
7	「私の好きな商業施設(店舗)」 課題作品の発表、講評を通して、課題内容を理解し再確認を行う。 課題①	講義：口頭発表 講評 フィードバック (所見・解説を補足して、さらに深く理解する。)	他学生のレポート、発表の講評を通して、課題内容を理解できる。 また自作の課題を見直し問題点を発見できる。	予習：未完了の課題 (レポート) を完成させ、口頭発表の準備を行う。 復習：発表し合った内容を読み返し、自分 なりの考えを整理する。	180	発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	作図実習-1 課題となる環境を調査、問題点を考察し、条件を理解する。【基本計画】 成果発表①	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 実習 現地調査、測量 (ペアワーク) グループディスカッション エスキース	環境を調査、問題点を考察し、条件を理解できる。	予習：Google classroomの資料を読 んでくこと。 復習：調査した結果を見直し再度考察する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把 握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	作図実習-2 問題点を解決するための デザイン手法を考える (1) 【基本設計】 (平面プランニング) 成果発表①	フィードバック (前回の授業の要点について 振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイントを使用する) 実習: エスキース	問題点を解決するための 平面プランニングの 演出を考えられる。	予習: 調査した結果を見直し再度考察する。 復習: 平面プランニングの演出について整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	作図実習-3 問題点を解決するための デザイン手法を考える (2) 【基本設計】 (空間プランニング・インテリア要素) 成果発表①	フィードバック (前回の授業の要点について 振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイントを使用する) 実習: エスキース	問題点を解決するための 空間プランニング、 インテリア要素を考えられる。	予習: 空間の演出方法について考察する。 インテリア要素の使い方について考察する。 復習: 空間の演出方法について整理する。 インテリア要素の使い方について整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	作図実習-4 商業施設の作図を勉強します。(平面図作成) 【実施設計】 成果発表①	フィードバック (前回の授業の要点について 振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。	正確かつ丁寧に作図を進めることができる。	予習: プレゼンテーション方法について整理する。 復習: 未完了の課題(平面図作成)を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	作図実習-5 商業施設の作図を勉強します。(平面図・展開図作成) 【実施設計】 成果発表①	フィードバック (前回の授業の要点について 振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。	正確かつ丁寧に模型製作を進めることができる。	予習: 未完了の課題(平面図作成)を進める。 復習: 未完了の課題(展開図作成)を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	作図実習-6 商業施設の作図を勉強します。(展開図作成) 【実施設計】 成果発表①	フィードバック (前回の授業の要点について 振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること	正確かつ丁寧に作図を進めることができる。	予習: 未完了の課題(平面図作成)を進める。 復習: 未完了の課題(展開図作成)を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	作図実習-7 商業施設の作図を勉強します。(詳細設計) 【実施設計】 成果発表①	オンデマンド授業。参考図面を動画にて解説します。さらに深く理解し、詳細を考察し、完成度を高めます。出席確認としてGoogleclassroomにレポート課題を出題し、回答をもって出席とします。	動画中の講評から多様な視点を学び、さらに多角的に考察します。的確な回答をもって到達レベルC(可)と評価します。	予習: 未完了の課題(展開図作成)を進める。 復習: 未完了の課題(詳細設計)を進める。	180	課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
15	作図実習-8 商業施設の作図を勉強します。(プレゼンテーション) 【実施設計】 成果発表① (※筆記試験の代わり)	フィードバック (第13週の授業の要点について振り返り説明) Google classroomを利用して実例やアイデアの情報を共有し、自分の作品の完成度を高めます。商業施設の作図を勉強します。(図面のカラーリング、表現手法を学ぶ) プレゼンボード作品まとめを行う。 プレゼンテーションと色彩計画を考える。	成果発表①提出。 プレゼンテーション方法と色彩計画を考え、自分の考えを表現するための方法を理解できる。	予習: 未完了の課題を進める。 復習: 未完了の課題を完成させる。授業で配布した資料などを見直し、授業内容を振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力